シラナイセカイ
濡れた淫乱司書の秘め事
初恋の幻想を洗い流した雨は
美人司書のメスブタ性癖を露わにした。
純朴な少年は劣情に誘われ
淫靡なセカイに溺れ堕ちていく…。

こうのわ公立図書館
アーカイブ
冷たい床
高い天井
紙のニオイと
肌にまとわりつく
湿度
本日の貸し出しは
終了しました
開館時間　午前９時30分～午後６時
休館日 毎週月曜日　第3火曜日
STAFF CARD
No. 21145
鈴城　ひなた
HINATA SUZUSHIRO
その静謐な空間は
僕とひなたさん
だけの世界
三日ぶりね
その間 誰かと
セックスした？
してないです…
塾の集中講義
だったから…
あ、
うぁ
にちゅ
にちゅ
にちゅ
ぬちゅッ♥
ぬちゅッ♥
にちゅ
じゃあ
ずっと溜めてのね
ふふ♥
えらいえらい♪
びゅっ
びゅっ
にちゅ
にちゅ
あっッ
ひなたさんは…？
びくっ
びくっ
くぁ

いつも通りよ
ぬちゃあ…っ
にちゃ…っ
にちゃ…っ
ずっと司書のお仕事してたわ
……
そう 貴方が想像している通り ずっと輪姦(まわ)されてたの
トロ…ッ
口にも マンコにも ケツ穴にも中出しされて 頭の先から足の先まで精液まみれのチンポ便器
トロ…ッ
トロ…ッ
大丈夫よ
キミみたいな『いい子』のチンポは別腹だから
ボタ
ボタ

さあ…たっぷり溜めこんだキンタマ汁
飲ませて♥
は…はい
トクン
トクン
トクン
はぁ…あ…♥今日はまだキミのチンポだけよ
早く…くっさいチンポはやくぅ♥
とろ〜…
ビクン!
ビクン!
はい
はい
はい
くちゅ…
んぁぁ…♥
ぬぶぶ…
んぼ…んっ
じゅぶ
ぶぶっ
ごぶぅ…んっ♥

甘いキスも
優しい愛撫もなく
彼女とのセックスは
いつもコレから
はじまる
んごぶっ♥
おぐううっ♥
げぶうっ♥
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ♥
ガク
ガク
ガクガク
ぢゅぽ
ぢゅぽ
ぢゅぽ
んぉ♥
おぐ♥
オナ♥
ゴリュ!
ゴッ!
ゴッ!
おぐっ!
ごぶぇ♥
おえっ♥
はっ
あっ
くっ
ガンガン
んぼ♥
おぐ♥
おげッ♥
グボッ!
ゴブッ!
ゴブッ!
容赦ない
喉マンコセックス
いや　顔面
オナホと言った
ほうが正確か
ぐちゅっ♥
ぬぢゃ♥
ぬぢゃ♥
んぼっ!
んぼぉっ♥
ひなたさんに
教え込まれた
性処理方法
会えない間もずっと
練習しているから
僕　かなり上手く
なってるでしょ?

いつも優しく清楚な
彼女は 僕にとって
憧れの女性だった
普段 子供たちに暖かな
声で読み聞かせをして
あげる姿に
何度 心が
満たされただろう
でも——
真実は違う
STAFF ONLY
読み聞かせ会も
本当は保護者の
男たちを誘い出し
生ハメ不倫乱交を
楽しむための
隠れ蓑だ
あぁ…ん♥ もう
そんな激しくしたら
変態マンコの音
子供たちに
聞こえちゃうわ♥
ははは
きかせてやれよ
あの優しい
『ひなたお姉ちゃん』
が
不倫チンポマニアの
クソビッチだって教えた
ほうが教育になるだろ
あん♥
あひ♥
あん♥
ちんぽっ
ちんぽっ
ぶびゃ!
ぶびゃ!
ぶびゃ!
ぬぢゃ
にぢゃ
ぬぢっ
ぬぢっ

彼女にとって
ここはただ性欲を
満たすための娼館
こんなこと
一カ月前まで
全然知らなかった
貴女がこんな
ビッチだなんて
知らなかった
好きだったのに
好きだったのに
好きだったのに
あの日　貴女に真実を
教えられて僕は――
ぐっ…！
ビクウッ!!

『好き』を超えて――
ぢゅるるるレッ♥♥
んぐ♥
ゴプッ!
ゴポッ!
ゴポッ!
んぼ♥
おぐっ♥
んぶっ♥
愛してしまった
ゴプッ!
ゴプッ!
んごっ♥
おぐっ♥
ゴプッ!
ゴプッ!
ゴプッ
ゴプッ
ゴプッ!
んぶっ♥
ズルッ…ッ
ズボッ
お…ぶ…っ

ぶっぽんっ
ん…っ♥
ぴゅっ♥
三日分だから濃いでしょ
まだ飲まないで…味わって…
んふ♥
んぅ…んっ♥
ぐちゅっ
んっ♥
ぐちゅっ
ぐちゅっ
んっ♥
ぱっ♥
くちゅ
にちゅ
んちゅる…
う…んっ♥
ゆう…とくんっ
おねがい…
はい
もう
いいですよ
にちゅ
ぐちゅ
ぶるっ
〜〜〜んっ♥
んく…♥
ぐ…っ♥
ごっくん
ぶるる…♥

——世の中は
知らないことだらけ
ここは知らない
世界が詰まった
魔法の部屋
昔　この人にそう
教えられてからこの
部屋に入り浸っていた
年月とともに
読む本や勉強内容は
変わっても
女神さまがいる
場所であることは
変わらない
——はずだった

ひと月前——
そう あの日も
雨だった
悠斗くん
悠斗くん
悠斗くん
…ん？
大丈夫？
もう閉館時間よ
もしかして
具合が悪いの？
わわわ!!
いっ いえっ
すみませんっ！
すっ
すぐ帰りますっ！
わた わた わた
ばばばばば
待って
すっ

今…雨が強くなってるから
もう少しここで待たない？
え…
ドクン
ドクン
ほら 聞こえるでしょう
雨の音
ドクン
ドクン
ひなた…さん？
カラ…
ほら
雨…
ちょ…っ!?
ガシッ
コッ
コッ
コッ

こんなに。
ゴッ!!
だ…ダメですよ ひなたさん
風邪ひくし 本だって濡れちゃ…
う…
ポタ
……ええ
濡れたわ
ポタ

…ずっと濡れてた
何年も前から
あなたが私に
オスの視線を
向けるたびに
マンコが
ぐっちょぐちょに
濡れてたわ
コッ
トン
マ…
んふ…
そうよ
わ…
あ…
もう『男の子』
じゃない 立派な
『オス』だもの
ひっ
うぁっ
経験はなくとも…
知ってるでしょ？
ビクン!
ビクン!
スリ…
スリ…
ゴソ
ゴソ
ジィーッ
モゾ
モゾ
あ
ひぁ

ズル
セックス。
ふふ…想像以上に
おっきくて
熱くて
オス臭くて…
あ…
ぬち
ぬち
ガク
ガク
にちゃ
にちゃ
にちゃ
まだ皮被ってて
私なんかより
もっと…
ひなたさ…
…や…め…
はぁ
はぁ
濡れてる♥

ビュクッ!
ビュクッ!!
うあああっ!
あぁんッ♥
あッ
あッ♥
あんッ♥
ビュクッ!
ビュックン!
あぁああ!
うあああっ!
うあっ
ヒッ
ドビュッ!
ビュクッ!
ビュクッ!
ひなたさ…ん
や やめ…っ
ダメ♥
思いっきり
ぶっかけて♥
ふふ♥
自分でするのと
全然違うでしょ?
もっと…
教えてあげる
ぬぢゃ…っ♥
ビュクッ!
ビクン!

そこから先ははっきり憶えていない

今までかき集めてきた
知性が消えていく
学問への探求心が
マンコへの執着心に
変わる
はぁ はぁ
ま…マンコ
もっとっ！
ハァ
ハァ
ハァ
あっ
んッ
そうよ
それでいいの♥
ギシ
ギシ
パン！
パン！
パン！
ま…マンコ
マンコっ！
ビクッ！
ビクッ！
ドプッ
ドプッ
ドプッ
あぁあっ♥
オスチンポおっ♥
ビクッ！
ハッ
ハッ
はぁ はぁ…
マンコっ！
あむ…んちゅ♥
あん♥
んは♥
ニチュ
ニチュ
クチュ
シラナイセカイを
知るために勉強を
してきた
だけどその世界に
近づく本当の道は
イグッ♥
イクッ♥
もっとマンコ
って呼んで！
私は射精便所
メスブタマンコ
なのっ♥
ドプッ！
ドプッ！
ビュクッ！
ビュクッ！
うあぁぁっ
またイクっ！
マンコいいっ
ひなたさんの
ブタマンコっ！
ちんぽ♥
ちんぽ♥
ベチン
ベチッ
ズチュッ！
ズチュッ！
ズチュッ！
脳を溶かして
ケモノのような交尾に
溺れることだった

あの日からずっと
ずっと　終わらない
ねえ…今日はお尻の
穴でイきたいの
もうアナルセックス
…慣れてるでしょ？
ね♥
ダメですよ
ひなたさん
大人はそんな言葉遣い
しない　って教えてくれた
のはひなたさんでしょ
ベチョ
ベチョ
ベチョ
――そうね
ごめんなさい
うっかりしてたわ

私のクソ穴犯して…♥
チンポ性処理用の
変態ケツマンコに
ふ
は
ギンッ
ぬぽぁ…♥
包茎チンポのくっさい
キンタマ汁でナマ出し
浣腸して…♥
あ…んっ♥
よくそんな言葉が
思いつきますね
だんだん下品に
なってますよ
ブチュ…♥
だ だって…男の人は
こういうだけで勃起
するでしょ♥
お
あ
……
男じゃないです
ブリュ…リュ…ッ
んほッ♥
おお…♥
ぎくん…
ぎくん…
お
あぉ…
おほぉ…っ♥
あ♥
オほ♥

オスです
ハッハッハッ♥

あぉおっ♥
んあっ！
け…ケツ穴
拡がっちゃうぅっ♥
ひっ！
あぁあっ♥あっ！
今日
凄すぎ…っ！
この動き…
ひどいわっ♥
ケツ穴壊して…ザー
メン臭いうんこを垂れ
流しにさせる気なのねっ
それでひなたさんが
感じるならば喜んで
だめ…らめぇっ♥
子供たちにもクソ
ブタマンコ女だって
気づかれちゃうぅっ！
おぉっ
ひぃぃん
ぁぁ♥

あぁあっ どうしたらいいの…っ
私…ケツ穴セックスしながらマンコオナニーしちゃう女なのにっ
ケツ穴壊れたら誰も犯してくれなくなるぅっ♥
それは困りますね
僕が成長できなくなります
あっ♥ あんっ♥
あの大人たちが僕なんかじゃ考えつかないセックスをひなたさんに教えてくれるから
間接的に僕も貴女にオスらしさを教えてもらえてるわけですし
僕がこうなったのは全部ひなたさんのせいですからね
あぉおっ♥ ちちが…っ わたヒのせいじゃ…ないわ♥

あ 貴方が…
元から変態なのよっ！
ブリュ
ブパッ
ただの読書少年が…
こんなエロチンポ
男だなんて…
ヒらなかったん
らからぁあっ！
んひぃッ♥

みんなにそう
言ってるでしょ？
ああんっ♥
し 信じて…っ
ケツ穴マンコっ…
ここまで酷く使って
くれる人…いないのよっ♥
こんなに
下品な音を聞いて…
チンポガチガチに
ひて…ウンコ穴
えぐりまわすの…
あなただけ
なんらからぁ…っ♥
ブリュッ！
ブバッ！
ガク ガク

じゃあ僕がマーキングしますね 明日にはまた別の男たちと乱交でしょ？
あぉおっ♥
んほっ♥ おっほおおぉっ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
今日の事 ちゃんと言ってくださいね
あーっ♥
ブシャッ♥
ブシャッ♥
言うっ！ 言ひますっ♥
あーっ♥
ひぃ♥
ひぎぃっ♥
悠斗君にクソ穴ハメ壊されてチンカスマーキングされたって言うからっ♥
あーっ♥
だからイカせてっ♥ 中に…ケツまんこの中にキンタマせーえき排泄(だ)ヒてぇえぇっ！
あっ♥ あぁあっ♥ イク…イク…っ！

う…くうっ！
ヴルヴルッ！
あっあぁあ♥
ビクッビクッビクッ♥
ビュクウッ!!
ビュー…ッ！
ビュー…ッ！
ビュー…ッ！
ダレやあ～ッ♥
あっ♥ あぉおっ♥
んぁぁあああ…っ！
おっ
あぁッ♥
ビクッ
ビクッビクンッ♥
いぐ…♥ ケツ穴
まんこぉお…っ♥
いひいいっ♥
イグッ♥
イグッ♥

あ…ぁっ　やらぁ
…抜かないで…♥
ぱぶ…ぶっ
ふ…うっ
や…っ
あッ
ぶぼっ
あひぃんっ♥
あ…っ　あぁ…っ♥
せーえき…
出てるぅ…あぁ…♥
あッ
ぶりゅっ♥
ぶりゅっ♥
ぶぱっ♥
ビクン
ビクン
コレ…きもヒ…
いィ…っ♥
あッ♥
まだですよ
まだ一日分
あと二日分
ありますからね
はッ♥
あぁ…嬉しいぃ…♥
はぁ♥
あ♥

——ねえ
私が他の男とセックスするのがイヤ？
どうしたんですか急に
あなた　他の男の話をすると　いきなり激しくなるから
ちゅく
ちゅぷっ
んちゅ♥
ちゅく
ん♥
んく♥
にちゃ
にちゃ
…わからないです
ただ彼らがいなかったら今の僕はないですから…感謝してます
ちゅぷっ
でも…嫉妬があることも確かです
にちゃ
にちゃ
百聞は一見に如かず——かしらね
ん♥
んく♥
……そうですね
にちゃ

後日　町の
男たち(セフレ)が集まった
その中には友達の
父親もいたし
学校の先生もいた
そして役場に
勤めてる親せきの
叔父さんまでも
にちゅ
にちゅ
ドプッ
にちゅ
にちゅ
チンポ♥
チンポ♥
んあ♥
あっ♥
あっ♥
ヘぇ　あの真面目な
読書少年がキミの
クソ穴担当か
そうよ　穴の奥まで
彼のせーえき臭く
なっちゃったわ♥
あぁん…彼の勃起
チンポ　ホント
すごいんだから♥
一日中でも
ヤリまくれるのよ♥
若いチンポには
かなわんな
あはっ♥　その若い子の
前でこんなに勃起させて
言うセリフ？
ドプッ
ゴプッ
ドプッ
グギュ！
グギュ！
グギュ！
グギュ！
グギュ！

お前　既婚者相手
でも構わずマンコ
開くもんなぁ
イク♥
ビュグッ
ビュグッ
イクッ♥
私のせい
じゃないわ♥
ビュグッ
ぬぢゃっ
チンポ♥
キュっと♥
にぢゃっ
ぬぢゃっ
誰のチンポでも
悦んじゃう
この身体のせいよ♥
あ♥
はへ♥
はへ♥
ビュグッ！
ビュグッ！
ビュグッ！

そしてこんな
メスブタに
欲情してくれる
オスチンポが必ず
いてくれるんだから
はぁ♥
公衆便所マンコを
辞める理由…
ないでしょ♥
ね 悠斗くん？
はぁ♥
はぁ♥
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ドロッ
ドロッ
ハッ
ハッ
ハッ
ニチッ
ニチッ
ニチッ
隠された悲しみや怒り
秘めた野心もウラの
思惑もない
彼女は決して物語の
ヒロインではなく
純粋な肉穴だった
最後まで…ちゃんと
センズリし
見届けてね♥
ビュクッ!
ビュクッ!
ビュクッ!
そして嫉妬しつつ
それを受け入れている
僕は——何者なのか

どうだった？
あの人たちから
私を奪って　自分専用の
メス穴にしたい？
それとも私にもっと
セックスさせて
いろんな事を知りたい？
――答えは明白です
貴女はセックス
してこそ輝く人だと
思います
独占も束縛も
できません
だからあの
『よく分からない嫉妬』の
正体も分かった気がします

きっと　教えてもらう
ばかりじゃ嫌なんです
あ♥
ブリュ
ブッ
あ…んっ♥
んぁ♥
ひなたさんに僕が
教えたい
貴女が知らない
世界を
あ♥
あん♥
ぶっ
あの嫉妬は独占欲
じゃなくて大人
への憧れ
ぶちゅ
彼らを超えたい
という野心
大人になりたい――
でも　大人になって
『今』を振り返った時
『あのころに戻りたい』
と堂々と言える日々を
過ごしたい
ビクッ♥
あっ…んっ♥
ぁはぁ…っ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
ぶりゅ
ぶりゅ
きっと僕は今ちょうど
その境目にいる
ぐりゅ
ぐりゅ
ぐりゅ
だから　どちらも
輝かせたい
――
ひなたさんのために
タパ
タパッ
は♥
ふふ　悠斗くん…
ココを卒業するんだね
ちょっと
寂しいけど……
は♥
は♥

その日を
楽しみにしてるわ
――その後
僕は上京した

遠い街でたくさんの
女を犯して堕として
未知のセックスを
経験をしてきた
世界はひたすら
広く深い愛憎の
海だった
そして
帰ってきた
カチャ…

約束通り　彼女に
新しい景色を見せる
ために
えほんコーナー
こんにちは

ビキーン！
え…
あっ！
悠斗…くん？
ゴメンね。
わ〜
ずいぶん身長
延びちゃった
わね〜
ひなたさんも
ますます綺麗に
なって
やだもう
だれ〜？
だれ〜？
おひさしぶり
です
すみません
読み聞かせ会の
お邪魔しちゃって
約束
果たしに来ました
ええ…
おかえりなさい
本日の貸し出しは
終了しました
開館時間　午前９時30分〜午後６時
休館日 毎週月曜日　第3火曜日
あぁ…
お腹　きついわ
フル…
フル…

おしっこ浣腸…
グルグル
いってるぅ…っ♥
ああ…撮られてる…♥
私のクソブタマンコが…
世界中に
ばら撒かれる
なんて…♥
んぁあ…見て…
クソ穴も撮ってぇ…♥
撮るだけじゃ
ないですよ
ええ…
でも…本当に
こんな姿で外に？
まだ…昼間なのに…♥
ギシ…ギシ…
ビクッ
グルル…ッ
グルルル…ッ
ヴィ～ッ♥
ブブブブ…
ぶるるっ
ぶるぶるっ
ブッ♥
ブリュ
カチャ
カチャ
はぁ～っ♥
はぁ～っ♥
はぁ～っ♥
はぁ

大丈夫ですよ
これからは
中も外も
昼も夜も
関係ありません
約束通り　彼女は
持ち帰った知識と経験を
受け止めてくれた
今度は　彼女が
この学び舎を巣立つ番
見慣れた町
見知った人々
当たり前の日常
今日からは全てが
シラナイセカイ
カチャ…
さ
行きましょう
…はい
もうそこに
雨は
ない。

いいのよ。キミがずっと私をメチャクチャに犯す妄想をしてること…ずっと知ってたんだから
キミが初めて図書館に来て、たくさんの本に瞳を輝かせて、私のことを優しい司書のお姉さんと慕ってくれていたあの頃から
キミは私の身体を見てはチンポを勃起させていた。頭の中はマンコとセックスのことばかりになった…でも一度もそれを口に出さなかったね
私も一緒よ。あれからもう何年も経ったけど、会うたびに「この子のチンポに肉便器として屈服できる日はいつになるんだろう」ってずっとマンコを濡らしていた。
今日の図書館は沈黙厳禁よ。たっぷり溜めた妄執を口に出して私をメスブタ、エロマンコ、変態痴女、チンポ狂いの淫売肉便器…好きなように呼んで。
その想いは言霊になってきっと…今すぐにでも実現するから——。
「シラナイセカイ」
濡れた淫乱司書の秘め事
「想いを言葉に載せて…」

本日は…お足元の悪い中、私の
変態メスブタ便器宣言の場に
お集まりいただき…あ…ありがとう
ございます…♥
ご覧の通り、ご主人様のおチンポに
全身マンコ調教をしていただき
たった一か月で…チンポ堕ちさせて
いただきました♥
正直、ご主人様がここまで
調教師として才能があるとは
考えておらず…マゾブタのくせに
思いあがっていた自分を今は
心の底から恥じております…
ですので、本日のお披露目会は
公衆便女として生まれ変わった私を
皆様に『ご確認』ただきたく私のほうから
ご主人様にお願いして実現した次第です。
今日のために一週間、セックスを禁止
してバイブでマンコをグチャグチャに
焦らしてきました…あぁ…でももう
限界…っ♥
み…皆様…チンポ…チンポ…チンポ精液を…
このザーメン中毒マンコにナマ出ししてください…っ♥
「シラナイセカイ」
濡れた
淫乱司書の秘め事
「変態メス堕ち記念日」

シラナイセカイ
濡れた淫乱司書の秘め事
初恋の幻想を洗い流した雨は
美人司書のメスブタ性癖を露わにした。
純朴な少年は劣情に誘われ
淫靡なセカイに溺れ堕ちていく…。

本日の貸し出しは
終了しました
開館時間　午前９時30分～午後６時
休館日 毎週月曜日　第3火曜日
冷たい床
高い天井
紙のニオイと
肌にまとわりつく
湿度
アアアアアア
STAFF CARD
No. 21145
鈴城 ひなた
HINATA SUZUSHIRO
その静謐な空間は
僕とひなたさん
だけの世界
三日ぶりね
その間 誰かと
セックスした？
してないです…
塾の集中講義
だったから…
あ、
うぁ
にちゅ
にちゅ
にちゅ
ぬちゅッ♥
ぬちゅッ♥
じゃあ
ずっと溜めてのね
ふふ♥
えらいえらい♪
びゅっ
びゅっ
にちゅ
にちゅ
にちゅ
あっ
ひなたさんは…？
びくっ
びくっ
くぁ

いつも通りよ
ぬちゃあ…っ♪
ニチャ…っ
ニチャ…っ
ずっと司書のお仕事してたわ
……
そう 貴方が想像している通り
ずっと輪姦(まわ)されてたの
トロ…ッ♪
口にも マンコにも ケツ穴にも中出しされて
頭の先から足の先まで精液まみれのチンポ便器
トロ…ッ♪
トロ♪
大丈夫よ
ボタ
キミみたいな『いい子』のチンポは別腹だから
ボタ

さあ…たっぷり溜めこんだキンタマ汁
飲ませて♥
は…はい
トクン
トクン
トクン
ロ
ハ
はぁ…あ…♥今日はまだキミのチンポだけよ
早く…くっさいチンポはやくぅ♥
とろ〜…
ビクン!
ビクン!
はい
はい
はい
くちゅ…
んあぁ…♥
ぬぶぶ…
んぼ…んっ
ぶぶぶ
ごぶ
ごぶぅ…んっ♥

甘いキスも
優しい愛撫もなく
彼女とのセックスは
いつもコレから
はじまる
んごぶっ♥
おぐううっ♥
げぶうっ♥
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ♥
ガク
ガク
ガクガク
ぢゅぽ
ぢゅぽ
ぢゅぽ
んぉ♥
おぐ♥
オナ♥
ゴリュ!
ゴッ!
ゴッ!
おぐっ!
ごぶぇ♥
おえっ♥
はっ
あっ
くっ
ガンガン
んぼ♥
おぐ♥
おげッ♥
グボッ!
ゴブッ!
ゴブッ!
容赦ない
喉マンコセックス
いや　顔面
オナホと言った
ほうが正確か
ぐちゅっ♥
ぬぢゃ♥
ぬぢゃ♥
んぼっ!
んぼぉっ♥
ひなたさんに
教え込まれた
性処理方法
会えない間もずっと
練習しているから
僕　かなり上手く
なってるでしょ?

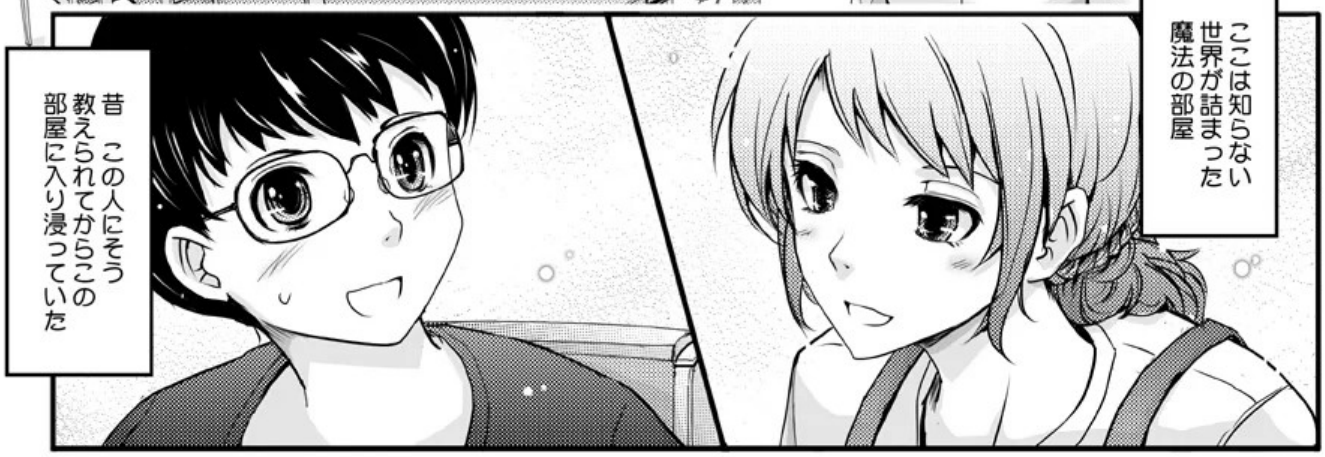
いつも優しく清楚な
彼女は 僕にとって
憧れの女性だった
普段 子供たちに暖かな
声で読み聞かせをして
あげる姿に
何度 心が
満たされただろう
でも——
真実は違う
STAFF ONLY
読み聞かせ会も
本当は保護者の
男たちを誘い出し
生ハメ不倫乱交を
楽しむための
隠れ蓑だ
あぁ…ん♥ もう
そんな激しくしたら
変態マンコの音
子供たちに
聞こえちゃうわ♥
ははは
きかせてやれよ
あの優しい
『ひなたお姉ちゃん』
が
不倫チンポマニアの
クソビッチだって教えた
ほうが教育になるだろ
あん♥
あひ♥
あん♥
ちんぽっ
ちんぽっ
ぶびゃ!
ぶびゃ!
ぶびゃ!
ぬぢゃ
にぢゃ
ぬぢっ
ぬぢっ

彼女にとって
ここはただ性欲を
満たすための娼館
こんなこと
一か月前まで
全然知らなかった
貴女がこんな
ビッチだなんて
知らなかった
好きだったのに
好きだったのに
好きだったのに
あの日　貴女に真実を
教えられて僕は――
ぐっ…！
ビクウッ!!

『好き』を超えて――
ぢゅるるるレッ♥♥
んぐ♥
ゴプッ!
ゴポッ!
ゴポッ!
んぼ♥
おぐっ♥
んぶっ♥
愛してしまった
ゴプッ!
ゴプッ!
んごっ♥
おぐっ♥
ゴプッ!
ゴプッ!
ゴプッ
ゴプッ
ゴプッ!
んぶっ♥
ズルッ…ッ
ズボッ
お…ぶ…っ

ぶぼっ
ん…っ♥
どぴゅっ
三日分だから濃いでしょ
まだ飲まないで…味わって…
んふ♥
んぅ…んっ♥
ぐちゅっ
んっ♥
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぷっ♥
んっ♥
くちゅ
にちゃ
んぢゅる…う…んっ♥
ゆう…とくんっおねがい…
はいもういいですよ
にちゃ
ぐちゃ
ふるっ
～～～～んっ♥
んぐ…♥
ごっくん
ぶるる…♥

——世の中は
知らないことだらけ


ここは知らない
世界が詰まった
魔法の部屋
昔　この人にそう
教えられてからこの
部屋に入り浸っていた

年月とともに
読む本や勉強内容は
変わっても
女神さまがいる
場所であることは
変わらない
PRINCE SYSTEM
日本史読本
孤島の
世界百科
資源戦争とは
外来生物
深海の守人
図録解説
老人戦争論

——はずだった

ひと月前——
そう あの日も
雨だった
ザアアアア
悠斗くん
悠斗くん
重要語を単語完全制覇
悠斗くん
く〜…
…ん？
大丈夫？
もう閉館時間よ
もしかして
具合が悪いの？
わわわ!!
いっ いえっ
すみませんっ！
すっ
すぐ帰りますっ！
わた わた わた
ばばばばば
待って
す…

今…雨が強くなってるからもう少しここで待たない？
え…
ドクン
ドクン
ほら 聞こえるでしょう 雨の音
ひなた…さん？
ドクン
…アアアア
カラ…
ほら
雨…
ちょ…っ!?
ガシッ
コッ
コッ
コッ

こんなに。
ゴッ!!
だ…ダメですよ ひなたさん
風邪ひくし 本だって濡れちゃ…
う…
ポタ
……ええ
濡れたわ
ポタ

…ずっと濡れてた
何年も前から
あなたが私に
オスの視線を
向けるたびに
マンコが
ぐっちょぐちょに
濡れてたわ
コッ
コッ
コッ
トッ
マ…
んふ…
そうよ
わ…
あ…
もう『男の子』
じゃない 立派な
『オス』だもの
経験はなくとも…
知ってるでしょ？
ひっ
うぁっ
ビクン！
ビクン！
ズ…
ズ…
ゴソ
ゴソ
ジィーッ
モゾ
モゾ
あ
ひぁ

ズル
セックス。
ふふ…想像以上に
おっきくて
熱くて
オス臭くて…
あ…
ぬち
ぬち
ガク
ガク
にちゃ
にちゃ
にちゃ
まだ皮被ってて
私なんかより
もっと…
ひなたさ…
…や…め…
はぁ
はぁ
濡れてる♥

ビュクッ！ビュクッ！！
うあああああっ！
あぁんッ♥
あッ♥
ビュクッ！
ビュックン！
あぁああ！
うあああああっ！
ガク
ガク
うぁっ
ヒッ
ドビュッ！
ビュクッ！
ビュクッ！
ひなたさ…ん
やめ…っ
ダメ♥
思いっきり
ぶっかけて♥
ぬぢゃ…っ♥
ビュクッ！
ビクン！
ふふ♥
自分でするのと
全然違うでしょ？
もっと…
教えてあげる

そこから先ははっきり憶えていない

今までかき集めてきた
知性が消えていく
学問への探求心が
マンコへの執着心に
変わる
はぁ はぁ
ま…マンコっ
もっとっ！
ハァ
ハァ
ハァ
あっんッ
そうよ
それでいいの♥
ギシ
ギシ
ま…マンコ
マンコっ！
ビクッ！
ビクッ！
ビクッ！
ドプッ
ドプッ
ドプッ
あぁあっ♥
オスチンポおっ♥
はぁ はぁ…
マンコっ！
ハッ
ハッ
あむ…んちゅ♥
あん♥
んは♥
ニチュ
ニチュ
シラナイセカイを
知るために勉強を
してきた
だけどその世界に
近づく本当の道は
脳を溶かして
ケモノのような交尾に
溺れることだった
もっとマンコ
って呼んで！
私は射精便所
メスブタマンコ
なのっ♥
うあぁぁっ
またイクっ！
マンコいいっ
ひなたさんの
ブタマンコっ！
ちんぽ♥
ちんぽ♥
ベチン
ベチッ
ベチッ
ドプッ
ドプッ
ビュクッ！
ビュクッ！
イグッ♥
イグッ♥
ガチッ！
ガチッ！
ガチッ！

あの日からずっと
ずっと　終わらない
ねえ…今日はお尻の
穴でイきたいの
もうアナルセックス
…慣れてるでしょ？
ね♥
ダメですよ
ひなたさん
大人はそんな言葉遣い
しない　って教えてくれた
のはひなたさんでしょ
ベチョ
ベチョ
ベチン
――そうね
ごめんなさい
うっかりしてたわ

私のクソ穴犯して…♥
チンポ性処理用の
変態ケツマンコに
ふぃ
はぃ
ギシッ
ぬぽぁ…♥
包茎チンポのくっさい
キンタマ汁でナマ出し
浣腸して…♥
ぁ…んっ♥
よくそんな言葉が
思いつきますね
だんだん下品に
なってますよ
ブチュ…♥
だ だって…男の人は
こういうだけで勃起
するでしょ♥
お
ぉ
……
男じゃないです
ぁ
ぉ
ぁぉ…
おほぉ…っ♥
ぉ
ぁ
オほ♥
んほッ♥
おぉ…♥
ぶりりり

オスです
ヒッ クウッ!!
ハッ ハッ ハッ♥
ズボッ

ブヒュ
ブヒュ
ブボッ
ゴリュ
ゴリュ
あぉおっ♥
んあっ!
け…ケツ穴
拡がっちゃうぅっ♥
ブボッ
ガタン
ガタン
ガタ
この動き…
ひどいわっ♥
ケツ穴壊して…ザー
メン臭いうんこを垂れ
流しにさせる気なのねっ
それでひなたさんが
感じるならば喜んで
おっ
だめ…らめぇっ♥
子供たちにもクソ
ブタマンコ女だって
気づかれちゃうぅっ!
おぉ
ブヒィン
ヘぁ♥
ヘぁ♥
ガチュ!
ギシッ ギシッ ギシッ
ブボッ
ブリュ
ひっ!
あぁあっ♥
あっ!
今日
凄すぎ…っ!

あぁあっ どうしたらいいの…っ
私…ケツ穴セックスしながらマンコオナニーしちゃう女なのにっ
ケツ穴壊れたら誰も犯してくれなくなるぅっ♥
それは困りますね
あっ♥ あんっ♥
僕が成長できなくなります
ひっ♥
あっ♥
あの大人たちが僕なんかじゃ考えつかないセックスをひなたさんに教えてくれるから
間接的に僕も貴女にオスらしさを教えてもらえてるわけですし
僕がこうなったのは全部ひなたさんのせいですからね
あぉおっ♥ ちちが…っ わたヒのせいじゃ…ないわ♥

あ　貴方が…
元から変態なのよっ！
ブリュン
ブポッ
ただの読書少年が…
こんなエロチンポ
男だなんて…
ぶるっ
ボッ
ボッ
ボッ
ヒらなかったん
らからぁあっ！
ずぢゅんッ！
んひぃッ♥
ぶら
ぶら
ずぢゅ♥

みんなにそう
言ってるでしょ？
ああんっ♥
し　信じて…っ
ケツ穴マンコっ…
ここまで酷く使って
くれる人…いないのよっ♥
ブリュッ！
ブボッ！
ブリュッ！
ブリュッ！
ボブッ！
カクン
カクン
へひゅ
へひゅ
へひゅ
こんなに
下品な音を聞いて…
チンポガチガチに
ひて…ウンコ穴
えぐりまわすの…
あなただけ
なんらからぁ…っ♥
ガク
ガク
ガク
ブバン！
ブリュッ！
ブバッ！

じゃあ僕がマーキングしますね 明日にはまた別の男たちと乱交でしょ？
あぉおっ♥
んほっ♥ おっほおおぉっ♥
ボクボク
ガクガク
ビクッ
ビクッ
ビクッ
今日の事 ちゃんと言ってくださいね
あーっ♥
ブシャッ♥
ブシャッ♥
言うっ！ 言ひますっ♥
あーっ♥
ぜくぜくぜく

う…くうっ！
ヴルヴルッ！
あっあぁあ♥
ビクッ♥ビクッ♥ビクッ♥
ビュルルルッ!!
ビュ――ッ！
ビュ――ッ！
ビュ――ッ！
ダレやあ～ッ♥
あっ♥ あぉおっ♥
んぁぁあああ…っ！
おぉッ♥
おっ
ビクッ♥ビクッ♥ビクッ♥
いぐ…♥ ケツ穴
まんこぉお…っ♥
いひいいっ♥
イグッ♥
イグッ♥

あ…ぁっ　やらぁ…抜かないで…♥
ぱぶ…ぶっ
ふ…うっ
ヤ…っ
あッ
あひぃんっ♥
ぶぽんっ
あ…っ　あぁ…っ♥
せーえき…出てるぅ…あぁ…♥
あ♥
ぶりゅっ♥
ぶぱっ♥
ぶりゅっ♥
コレ…きもヒ…いィ…っ♥
ビクン
ビクン
ビクン
まだですよ　まだ一日分
あと二日分ありますからね
はぁ♥
あぁ…嬉しいぃ…♥
あ♥

——ねえ
私が他の男とセックスするのがイヤ？
どうしたんですか急に
あなた　他の男の話をすると　いきなり激しくなるから
ちゅく
ちゅぷっ
んちゅ♡
ちゅく
ん♡
んく♡
にちゃ
にちゃ
…わからないです
ただ彼らがいなかったら今の僕はないですから…感謝してます
でも…嫉妬があることも確かです
にちゃ
にちゃ
ん♡
百聞は一見に如かず——かしらね
んく♡
にちゃ
……そうですね

後日　町の
男たち(セフレ)が集まった
その中には友達の
父親もいたし
学校の先生もいた
そして役場に
勤めてる親せきの
叔父さんまでも
にちゅ
にちゅ
ドプッ
にちゅ
にちゅ
チンポ♥
チンポ♥
んあ♥
あっ♥
へぇ　あの真面目な
読書少年がキミの
クソ穴担当か
あっ♥
そうよ　穴の奥まで
彼のせーえき臭く
なっちゃったわ♥
あぁん…彼の勃起
チンポ　ホント
すごいんだから♥
一日中でも
ヤリまくれるのよ♥
若いチンポには
かなわんな
あはっ♥　その若い子の
前でこんなに勃起させて
言うセリフ？
ドプッ
ゴプッ
ドプッ
グギュ！
グギュ！
グギュ！
グギュ！
グギュ！

お前　既婚者相手
でも構わずマンコ
開くもんなぁ
イク♥
ビュグッ
ビュグッ
イクッ♥
私のせい
じゃないわ♥
ビュグッ
ぬぢゃっ
チンポ♥
キュと♥
ニヂュッ
ぬぢゃっ
ビュッ！
ビュッ！
はへ♥
誰のチンポでも
悦んじゃう
この身体のせいよ♥
ビュッ！
あ♥
はへ♥

そしてこんな
メスブタに
欲情してくれる
オスチンポが必ず
いてくれるんだから
はぁ♥
公衆便所マンコを
辞める理由…
ないでしょ♥
ね 悠斗くん？
はぁ♥
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ドピュッ
ドピュッ
ハッ
ハッ
ハッ
ニチッ
ニチッ
ニチッ
隠された悲しみや怒り
秘めた野心もウラの
思惑もない
彼女は決して物語の
ヒロインではなく
純粋な肉穴だった
最後まで…ちゃんと
センズリし
見届けてね♥
ビュクッ!
ビュクッ!
ビュクッ!
そして嫉妬しつつ
それを受け入れている
僕は——何者なのか

どうだった？
あの人たちから
私を奪って　自分専用の
メス穴にしたい？
それとも私にもっと
セックスさせて
いろんな事を知りたい？
――
答えは明白です
貴女はセックス
してこそ輝く人だと
思います
独占も束縛も
できません
だからあの
『よく分からない嫉妬』の
正体も分かった気がします

きっと　教えてもらう
ばかりじゃ嫌なんです
あ…んっ♥
ひなたさんに僕が
教えたい
貴女が知らない
世界を
あの嫉妬は独占欲
じゃなくて大人
への憧れ
彼らを超えたい
という野心
大人になりたい——
でも　大人になって
『今』を振り返った時
『あのころに戻りたい』
と堂々と言える日々を
過ごしたい
あっ…んっ♥
あはぁ…っ♥
きっと僕は今ちょうど
その境目にいる
だから　どちらも
輝かせたい
——
ひなたさんのために
ふふ　悠斗くん…
ココを卒業するんだね
ちょっと
寂しいけど……

その日を
楽しみにしてるわ
——その後
僕は上京した

遠い街でたくさんの
女を犯して堕として
未知のセックスを
経験をしてきた
世界はひたすら
広く深い愛憎の
海だった
カチャ…
そして
帰ってきた

約束通り　彼女に
新しい景色を見せる
ために
えほんコーナー
こんにちは

ビキーン！
え…
あっ！
悠斗…くん？
おひさしぶりです
すみません 読み聞かせ会のお邪魔しちゃって
ゴメンね
ずいぶん身長延びちゃったわね～
ひなたさんもますます綺麗になって
やだもう
だれ～？
だれ～？
約束果たしに来ました
ええ… おかえりなさい
本日の貸し出しは終了しました
開館時間 午前９時30分～午後６時
休館日 毎週月曜日 第3火曜日
あぁ… お腹 きついわ
フル…
フル…

おしっこ浣腸…
グルグル
いってるぅ…っ♥
ああ…撮られてる…♥
私のクソブタマンコが…
世界中に
ばら撒かれる
なんて…♥
んぁあ…見て…
クソ穴も撮ってぇ…♥
撮るだけじゃ
ないですよ
ええ…
でも…本当に
こんな姿で外に？
まだ…昼間なのに…♥
ギシ…ギシ…
ビクッ
グルル…ッ
グリュリュ…ッ
ヴィ～ッ
ブブブ…
ぶるるッ
ぶるぶるな
ブッ
ブリュ
カチャ
カチャ
はーっ♥
はーっ♥
はーっ♥
はっ♥
はっ♥
そくん♥
そくん…っ♥

大丈夫ですよ
コツ
これからは
中も外も
昼も夜も
関係ありません
約束通り　彼女は
持ち帰った知識と経験を
受け止めてくれた
今度は　彼女が
この学び舎を巣立つ番
見慣れた町
見知った人々
当たり前の日常
今日からは全てが
シラナイセカイ
カチャ…
さ
行きましょう
…はい
もうそこに
雨は
ない。

いいのよ。キミがずっと私をメチャクチャに犯す妄想をしてること…ずっと知ってたんだから
キミが初めて図書館に来て、たくさんの本に瞳を輝かせて、私のことを優しい司書のお姉さんと慕ってくれていたあの頃から
キミは私の身体を見てはチンポを勃起させていた。頭の中はマンコとセックスのことばかりになった…でも一度もそれを口に出さなかったね
私も一緒よ。あれからもう何年も経ったけど、会うたびに「この子のチンポに肉便器として屈服できる日はいつになるんだろう」ってずっとマンコを濡らしていた。
今日の図書館は沈黙厳禁よ。たっぷり溜めた妄執を口に出して私をメスブタ、エロマンコ、変態痴女、チンポ狂いの淫売肉便器…好きなように呼んで。
その想いは言霊になってきっと…今すぐにでも実現するから——。
「シラナイセカイ」
濡れた淫乱司書の秘め事
「想いを言葉に載せて…」

本日は…お足元の悪い中、私の
変態メスブタ便器宣言の場に
お集まりいただき…あ…ありがとう
ございます…♥
ご覧の通り、ご主人様のおチンポに
全身マンコ調教をしていただき
たった一か月で…チンポ堕ちさせて
いただきました♥
正直、ご主人様がここまで
調教師として才能があるとは
考えておらず…マゾブタのくせに
思いあがっていた自分を今は
心の底から恥じております…
ですので、本日のお披露目会は
公衆便女として生まれ変わった私を
皆様に『ご確認』ただきたく私のほうから
ご主人様にお願いして実現した次第です。
今日のために一週間、セックスを禁止
してバイブでマンコをグチャグチャに
焦らしてきました…あぁ…でももう
限界…っ♥
み…皆様…チンポ…チンポ…チンポ精液を…
このザーメン中毒マンコにナマ出ししてください…っ♥
「シラナイセカイ」
濡れた淫乱司書の秘め事
「変態メス堕ち記念日」